

学年	中学2年	教科	美術	科目	美術	単位数	2
教科書名	美術2・3 探求と継承 (開隆堂)			副教材名	表現と鑑賞 東京都版 (中学校美術鑑賞研究会)、画材など		
コース・クラス	中高一貫						

I. 目標

- ・ 図画工作で培われた感性や表現・鑑賞における基礎的な能力などの学習経験を生かし、美術での資質や能力向上と豊かな人間性の形成を図る。
- ・ また、ものを作る過程で教材や道具を安全、大切に扱うことを学び、マナーやルールを守ることを身につける。

II. 授業のねらい

- ・ 身近な人のスケッチや、身の回りの動植物を表現させる題材から「身近な人、ものへの愛着」や「生命の尊さ」を学ぶ事を課題とする。「色の性質」や色彩についての基礎知識の学習を進める。

III. 授業の進め方

- ・ 美術室で行う。参考作品(教員の作例、過去の生徒作品、作家の作品)の鑑賞を通して課題を理解し、そこから自分のイメージを膨らませる。
- ・ 頭の中で考えたことを紙の上にスケッチしてイメージと現実のギャップを感じ取らせ、足りない部分を根気よく補いながら、自分のイメージに近づくよう制作させる。
- ・ 道具を使用する作業の場合は安全に注意し、説明に従って作業をさせる。「すずかけ祭」で作品展示を行わせる。

IV. 学習上の留意点

- ・ 今後の学習や制作につながるような規則正しい行動をする。自分の考え方や、課題に対する考え方を大切にする。
- ・ 提出物の期限を守る。
- ・ 作業後の後片付けをきちんと行う。個々の材料や道具には記名をして管理する。

V. 定期試験

- 1 学期 中間試験 : 定期試験は行わず、作品提出や授業内小テストを行う。
- 1 学期 期末試験 : 定期試験は行わず、作品提出や授業内小テストを行う。
- 2 学期 中間試験 : 定期試験は行わず、作品提出や授業内小テストを行う。
- 2 学期 期末試験 : 定期試験は行わず、作品提出や授業内小テストを行う。
- 3 学期 学年末 : 定期試験は行わず、作品提出や授業内小テストを行う。

VI. 評価の方法

- ・ 技術的な完成度と制作に対する熱意、限られた条件の中での工夫や表現内容の豊かさ、発展性、計画性、提出期限を守れたかなどを評価の視点とする。また、小テスト、出席状況や授業態度も重視する。

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	革工芸 ・定期入れを制作	作品提出 授業態度 実技テスト	・レーザーカービングの技法を理解する。
	5	・愛着を持てるデザインを考えて制作する。		・革工芸の手順を理解し、愛着のある作品を作る。
	6	鉛筆デッサン		・手作りでしか味わえない良さや美しさを感じ取る。材料の特性を生かしながら、自分の手でものを作り出す喜びを味わう。
	7	・ものの形の捉え方、質感、量感など踏まえ与えられたモチーフを描写する。		・すずかけ祭で展示する。 ・鉛筆の使い方を学ぶ ・削り方、タッチの工夫、パースペクティブを学ぶ。
二学期	9	ガラス工芸 ・サンドブラストでガラスにデザインする。	作品提出 授業態度 実技テスト	・アートナイフの使い方を理解する。
	10	・季節に合ったデザインのガラスの制作		・作る喜びと鑑賞する楽しさを学ぶ。
	11	デザイン		・自らのイメージに忠実に、根気よく表現する。
	12	・ポスター制作 ・企業のコンクールに出品する作品の制作		・与えられたテーマに沿って、視覚伝達できるポスターを制作する。
三学期	1	プッシュスタンド ・ファンタジーライトの制作	作品提出 授業態度	・色彩学で学んだ知識を生かし、光を意識した作品を制作する。
	2	・家に置きたい楽しいデザインを考えて制作する。		・作り喜びと鑑賞する楽しさを学ぶ。
	3	光の効果などを考えて制作する。		

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。